

バストス週報

第1571号
昭和二十二年
六月二十七日
月曜日発行
Diretor
Koiti Mori
Redator
Shoho Miyatake
Rua 10 de
Novembro 882
C. Post. 112
Fone: 340
BASTOS
E. S. P.
Anual
Cr. #
110.00
前会
Adiant.

26

学生運動

日本では全学連以来十数年、今日に到るまで、学生運動が連続として相続されており、主なる敵対目標は自民党政府の対米政策にあったようだが、時には直接米空母工ソーターフライス男の佐世保入港反対を叫んで数百名の大学生が佐世保に押しかけ、デモを行ったり、米兵を襲ったこともあったようだ。最近では成田空港反対運動で実力行使したりしている。これらの学生運動は、学生自体の要求から発したというよりも、彼ら浮動性を共産又は社会党が利用して踊らせものという見解の方が強いようである。

日米安保条約に反対して国会占領を企て、自衛隊と大衝突を起したり、ずいぶん激しい事件を起しているが、そういう政治色濃厚なものがあるかと思えば、東大安田講堂に立籠って学園騒動に終始したり、とにかく、めくら減法、八、当りの状態であった。○学生運動は日本だけの専有物ではなく、欧米各地大同小異な事件がくりかえされたようだが、共産国にあつては不思議と、そういう騒動のあったことをきかない。たとえ、あつたとしても発表しないか、吾々の耳に入らぬのかもしれないが、そういう学生運動を厳然と取り締まらなければならない。

○ブラジルでも革命政府初期に大々的打、反革命的な学生運動があり、七百名のうち検挙されたが、結果どうなつたか、詳細はなかつたようだ。しかし、聞く所では多くが国外追放の処分を受けたようだ。それ以来学生の政治運動は厳禁され、平静を保つてきたようである。

ところが去る五月末ブラジリアに於いて学生が憲法に関する集会を行つたというが、主催者十数名が停学、又は放校処分になつた事件があつた。この処分は反対して六月四日ベロオリゾンテ大学の学生がデモストレーションを行い、当局ではデモ公開を禁止した。教員相も、学生はデモを行わぬよう指令した。しかし学生等六百名、学内でデモを断行したので、武装警官五百人が校内に踏み入り、五百名の学生を逮捕した。取り調べの結果、一部のものは、国家安全保障法に抵触する模様である。当五日にはインドリーナ大学でも抗議デモが行われたが、やはり警官隊によつて解散せしめられ、なかなかの騒ぎであつたという。

ブラジルでは革命政府がすでに国法を以つて学生の政治運動を禁止しているのだから、無理矢理にこれを犯すという事は、違法の対照となるが、これを大目に見逃かせば、反政府的思想者達は必ずや横暴行動を起すことは、火を見るより明らかであろう。

毎度ありがとうございます

御宿泊と御食事に
御婚披露披露とお仕出しに
御家族連れの楽しいお食事
シネマのお帰りに熟物料理に
日本料理とブラジル料理
毎木曜日は当店自慢のフェジョアーダ
バストス名物「鯉料理」



OHTEL PRIMAVERA

Rua Pres. Vargas - 271. C. Postal - 60. Fone 92 Bastos S.P.

ホテル森川

郵便六〇番
電話九二番

FLORA & BASTOS T. MORIMOTO & FILHOS LTDA

R. Duque de Caxias 524. C. Post. 171. Fone: 29

森元農園

もし革命政府が手をゆるめるならば、又ゴラール時代のような動搖する社会となるであろう。

○日本が共産党を政党として認めたのは、実はアメリカの各報によるものだが、今にして考えれば、大きなあやまちである。ブラジルは共産党を公党として認めていない。民主主義国家を標榜する以上、共産党を抱え込むことなど馬鹿げた話であるインドネシア、チリ、などの例を以つても、その誤りが判る筈である。

○私は頭が古いせいか、学生は政治性のある運動は

花と緑の二用はフロラ・バストス園に
愈々入植祭も近づきました。

緑と花一杯の庭を造りましょう

大小苗を入植祭迄特別安くお持ちします

尚、景品として黒松苗二年物を進呈致します

外、果樹苗一切、花木類、鉢植用盆栽用。

庭園用・生垣用・植林用・つじ・つばき・

もくれん・さくら・もみじ・モクセイ・

ひいらぎ・黒松・杉等々

セツソソク エスヘランサ区

一切なすべきではないと思つてゐる。糸音

三十年前の記録

ヒロシマ日記の十日間

あと五十日もたたぬ内に今年も八月六日を迎える。ヒロシマが原爆にやられ今年は三十二年である。古い雑誌を整理して見たら、ヒロシマを原爆にやられた人の体験日記が出ていた。おそろく読んだ人は少いと思われるので、再録することにした。執筆者は当時の広島通信病院長、蜂谷道彦博士である。

大試練の一瞬

(蜂谷道彦記)

八月六日

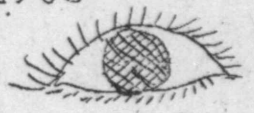
まさか大試練の日であろうとは思わなかった私は夜采の警防勤務でくだひれきつて座敷の真中にねころんでいた。カラリと降れた土曜日の朝だ。雲一つない紫紺の空にくっきりと浮び上った庭の樹々、濃い影が庭に深味を与えてとても美しい。私はぼんやりと庭を眺めていた。

ながめていた、というより美しさに見とれていたのであった。さらに強い光がすうすうと、二度つづけどまに光った。黒い日影が全くなくなり、庭のみすみから、石燈籠の中まで明るくなった。マグネシウム、フラッシュが、電車のスパークか、はておかし。薄暗い闇を通して、斜に傾いた柱がぬつ、と眼の前に現われた。私は思わず飛び起きて逃げ出した。柱の下をくぐった。ガムシヤラの脱出だ。通りつめた廊下を駆け出していた。パンツがない。私にはたじろいだ。シャツもない。私は丸はだかだ。

「八重子、八重子」と家内の名を連呼した。自分のからだを見なおした。右半身傷だらけだ。左ももに突き立った袴切れを引きぬいた。顔から口へ生温かいものを覚え、手で顔をさすった。血だ。頬に穴があき、下唇が二つに割れて、片方がぶら下がっているように思われた。首の右側が窪つけられたように動きにくい。大きなカラスがふれた。血が胸をつたう。思わず首のガラスをひきぬいた。血が吹き出した。

「頸動脈か、しまった」と、私はもうダメと観念した。私は「五百キ」爆弾だと叫んだ。母屋の中から左手で右ひじを付えた家内が真青な顔をして走り出た。私は反射的に

「お前は助かる、すぐ逃げよう」といって縁から庭へ飛びおりました。無言の家内は私の後につづいた。崩れ落ちた瓦や、板の間をくぐっていたら隣の門へ出た。道に出たとたん、八の頭につまづいた。「失礼



INSTITUTO DE OFTALMOLOGIA DE TUPÃ

Clinica e Cirurgia de Olhos Rua Carijós nº 278-TUPÃ

Prescrição de óculos e lentes de Contato Fone: 2903

Dr. Isao Umino

Dr. Luiz Carlos Alves Negrão

Dr. ルイス・カルロス・アルベス・ネグロン

海野 勲

眼科専門医

ツパン市ロード・ビリアリの向い側にこの開業致しましたので、バスタース出張が出来なくなりました。就きましては誠に恐縮でございますが、治療中の方、診察御希望の方、又は眼鏡の度数測定の方には連絡の処申かれますが、ツパン診療所まで御定着下さいますようお願い致します。(診察時間：日曜祭日以外 午前八時より 十二時まで 午後三時より五時まで INPS 受付致します)

ツパン市ルカカシスニ七八番地
ロード・ビリアリ前
電話二九〇三番

失礼」と声をはり上げて、おわびをしたが返事がなかった。青年将校だ。将校の身体は倒れた門の下敷きになっていた。お隣の家はすでに座ってしまっている。道をへたてた向うの家が大きく揺れている。わが家が土煙を立てて倒れた。

すぐ病院へ、私はわき目もふらずに歩いた。二、三十歩あるくと息ぎれがする。足が重い、のどがかわく。「水々」と家内にせがんだ。街角を曲ると道の真中にはんやりと兵隊がたすんでいて、その兵隊に「タオルをくれ」といって手を差し出した。兵隊は、だまってタオルを持った手をさした。もうったタオルを腰に巻きつけて前をかくした。二、三歩あるくと、タオルがはずれて土に落ちた。家内のエプロンが目についた。そのエプロンをとって前にかけた。出血のためか、気のゆるみか、にわかにかに歩きにくくなった。全身血みどろになった。右足の動きが特に悪い。とても家内と一しよに病院まで歩けそうにない。家内の顔も血が流れ、足も血まみれた。このままだでは共倒れだ。私は助を求めた。なつて、家内をひと足先に病院へ走らせた。家内はのどき込むように私の顔を見つめ、それから薄暗い道を小足に走り出した。街角を曲る時、私の方を振りむいた。家内が思えなくなつて、にわかにかに心細く

なつた。私は血の吹き出すキズ口を仕こえて歩いた。一生一代心の張りを足に集めて歩いたような気がする。立退(たちひき)の間(ま)家のなぐりた広場へ出た。コンクリート建の大きな通信局と病院とがマミを通して見えた。私は、もう大丈夫と思った。死んでも死体だけはなくならないと、心臓(しんぞう)かにつぶやいた。

幽霊のような人影

心が落付いたためか、広場へ出たためか、さろぞろ人影が目につくようになった。薄暗い道を両手に差上げ、両手をたれた。羞(はにか)みながら幽霊のようなかっこうをしたものが二、三うろろしていきのこた。よく見ると、そんなか、こころをさしているのか多い。私と同じように丸はたかの婦人が、血まみれになつた赤子を抱(かか)りこぼとぼと歩いてくる。私は顔をそむけた。

「この奥さん、朝風呂へはいっていらしたのか」と思った。又丸はたかの男に会つた。道のわきに老婆が倒れていた。皆無言(みなごん)だつた。

通信局の門へたどりつくと、日頃無意な井口君の顔がイの一番に目についた。見なれた顔が沢山あつた。皆ホラ然(ほろ然)自失(みだり)の態だ。それでも知人がいるので私は意を強(こ)うした。井口君が走(は)って来て、私をささえてくれた。世良(よら)事務長(じむぢやう)が飛(と)び出して来た。私(わたし)は「早く来(こ)たが、世良(よら)君(きみ)が承知(じやうち)をしない。無理(むり)に担(か)架(か)へ乗(の)せられて小使(こし)室(むろ)へかつぎ込まれた。

柙(こ)の吹き飛んだ窓(まど)から、担架(たんか)といっしよに病院の部屋の中にひきずりこまれた。窓(まど)越しに見える病院の二階三階、窓枠(まどわく)がねじ切(き)れこぼたらしくこわれていろではないか。日頃私(わたし)といっしよに働(はたら)いていた看護婦(かんごふ)の賀(が)戸(と)さんかいたので、パンツと寝衣(ねい)を預(あづか)り、キズ口の消毒(しょうじゆ)をたのんだ。どこから来たのか、枕もとに溝口(みぞぐち)君(きみ)がいた。佐伯(さかえ)の婆(ば)々(ぢやう)さんも来た。皆、無言(みなごん)の行(ゆ)だ。胸(むね)の傷(きず)が飛(と)びよるほど痛(いた)んだ。沃度(わくど)子(こ)んキを塗(ぬ)っていろのだ。

「沃(わく)子(こ)んはごめんだ、水(みづ)で洗(せん)ってくれ」といった。三階(さんかい)のサン・ルーム(サンルーム)から煙(けむ)が出(で)た。向(む)もなく赤黒(あかくろ)いほのおがフツとのどいた。私は思わず「火事(かじ)だ」と叫(こ)んだ。廊下(らうか)の方(かた)から、かん高い、待(まち)選(せん)々(ぢやう)の声(こゑ)が受(う)けのようにきこえた。

わか冢(わかづか)をとび出してから初めて人の声(こゑ)だ。静(しず)かな病院(びやういん)が、にわか(にわか)に焔(えん)々(ぢやう)しくなつた。事務長(じむぢやう)の号令(ごうれい)で私の全神経(ぜんしんけい)は自分(おれ)自身(みづか)に集結(しやくけつ)して、周囲(しゆゐ)を知ることを忘れていたのだ。こころ鳴(な)る空(そら)、驟(驟)々(ぢやう)しい院内(いん)、戦場(せんじやう)はこんなものかと思(おも)つた。私はタンカに乗(の)せられたまゝ、病院(びやういん)から通信局(つうしんきよ)の中庭(ちゆうてい)へ運(は)れた。皆(みな)、芝生(しばせい)の丘(かみ)へうすくま、火(ひ)のおさまるのを待(まち)つた。沈黙(しんもく)の時間(じかん)がつついた。空(そら)は一面(いちめん)薄(うす)すみの流(なが)る

れた。大きなトタン板(いた)が、うなりをこめて飛ぶ。大(おほ)小無(せうむ)数の木片(こくわ)が高く低くツバメのように飛んでゆく。

連載小説

蒼君(そうきみ)ぞうぼう

23

著者(しやくしや) 石川(いしかわ)達三(たつさん)

希音(きおん)

「あのタバコ屋、まだいたか?」

「居(い)ねえ、いま鎖(さ)をつたわつて降り(くだ)り行った」

「欺(たぶ)された。支那人(しにんじん)がお前(まへ)、油断(あぶ)りもせず、さもなくわえな」

この話は門馬(かどま)さんの婆(ば)さんにはたまらないほど腹(はら)立たしかった。勝治(かつぢ)はどこ(どこ)の国(くに)へ行(い)ってもタバコの値段(ねだん)は一定(いちぢやう)した重光局(じゆうけい)の儲(もち)だと思(おも)つていただけに、口惜(くを)しさがつて唇(くち)をかんだ。

彼(かれ)らの隣(とな)りでは鳥取県(とっとりけん)の移住組合(いしじゆうくわい)で土地(ち)を買(か)つて入植(にんぢ)する難波(なに)さんといふ男(おとこ)が、植(う)植(う)に生(な)えどろつた。難波(なに)さんをなぐら、八木節(やぶせつ)のうまい三浦(みやま)さんにブラジル事情(しじやう)を話(はな)してさかせた。

「わいらの行く前(まへ)はな、アリアンサ権民地(ごんみんぢ)という所(ところ)だ、日本人(にほんじん)が地主(ぢゆう)になつとる所(ところ)ですよ。もう出来(こ)るから五六年(ごねん)にたるとんしゃが、とても立派(たてま)な成績(せいせき)だ」

「マリアはどつこす。怖(こ)いさすかたあ」

「マリアはあんた、柱(はしら)をこたはないんしゃ、ブラジルにはな、ユーカリ(ユーカリ)ブト(ユーカリブト)という木(き)があつてな、これはまた更によい木(き)で、後(ご)は六(む)つの木(き)で、植(う)植(う)ととんとん仲(な)ひる。土地(ち)がよいから、六年(ごねん)は

Organização Social de luto ARegional
 Rua Adhemar de Barros nº295, Fone: 361, Bastos S.P.
 Residencia no local, faça Bastos crescer prestigionado seu comercio sobre direção de aparecido fericiano
 Ribeiro EX Funcionario da funeraria São Pedro,
 artigos Funeraria prestação serviço, FLORES, -
 coroas. Velas Hossnko. Hihai artigos para umban-
 do em geral Atendimento INPS e FUNRURAL
 Atnde- se dia e noite.

葬具店(そうぐ)フネリアザンペードロ

後藤(ごとう)さんのカツリン(カツリン)ポストの向(む)い側(がわ)で開店(かいてん)致(いた)して居(い)ります。普通(ふつう)葬具店(そうぐ)の備品(びひん)以外(いがい)、生花(なまはな)、花輪(はなわ)、線香(せんかう)、ローソク、位牌(ゐはい)等の仏式(ぶつしき)に必需品(ひつていぶつ)のすべてを取りそろえて御奉仕(ごほうし)致(いた)しております。尚(なほ)INPS、FUNRURALの受付(うけつけ)も致(いた)します。夜(よ)と昼(ひる)の別(わか)なく受付(うけつけ)けております。電話(でんわ)で御用命(ごようめい)下(くだ)されば、すぐお届(とど)け致(いた)します。

バストス市(バストス市) アデマル デ バーロス街(アデマルデバーロス街) 295、電話(でんわ)三六一番(三六一番)

死亡通知並に会葬御礼

母、古賀アサ（九十歳）儀老衰の爲め去る六月十六日午後六時半眠方が如く大往生致しました。依って翌十七日午後五時自宅出棺バストス墓地へ埋葬致しました。此の儀其前御交誼を賜わりました皆様にご知らせ致します。

尚、葬儀に際しましては御多忙中の趣遠路態々御会葬下され、且又御鄭重なる御香料並びに供華等を御手向下され御芳志辱りく厚く御礼申上げます

実は一々御廻礼申し上ぐるべき筈の趣取込中に其の意を得ませず、失礼乍ら略儀紙上を以て取敢えず御礼の御挨拶申上げます。

一九七七年六月十八日

中央第三区

喪主 古賀三乃
妻 古賀也重
父 古賀一

親戚代表 垣本三

水口 武政
宮 武政
西見 政

留子 同 務郎 行

- バストス市役所様
- バストス南伯農業協同組合様
- バストス中央親睦会様
- バストス中央第三区様
- バストス南米本願寺様
- バストス仏教婦人会様
- バストス福岡県人会様
- バストスPL教会様
- バストス高野山同信会様
- バストス福音ホーリネス教会様
- バストス生長の家白鳩会様
- バストスモテラール老人学校様
- バストス明老会様
- 会葬者御一同様

には六丈ぐらいいも伸びる」

「な、なんという水ですか？」

「コーカリプト。そしてな、大抵にどうもいい村木になる。それとどこしうえているのを見たか」と答えた。同時に「真いー」「真いー」

「ああ、真い、大抵にどうも真い、生えている倍を過つても真い」

「いいや、いやでない、そのコーカリプトをあんた、アリアンナ植民地では部落のまわりになる、と植えた。すると翌年からあんた、どうもマリアがもうばーだー、拍子をつけてマッテをすり、若か、おくひまじりの都々逸を弾を鳴らして上のデッキに出て行く、もうそこには小水助監督が例の白いユニホームを着て、夏の煙草に火をつけた。」

「と乗った。不慮謀でな。一つまりそのマリアの蚊とい運動帽をかぶ、こ待っていた。」

「しかし、難波さんはまたブラジルも知らず、コーカリプトも見たな早く帰ってー」しかし中年の女たちは、一向に体様をしようとはしなかった。

「気がつくとも船はもう横橋を離れていた。下のAまでお夏がお母と三人が鉄格子のベツトに横にたがって、退屈だから塩豆をかり、ていた。ときどきお湯の母親が上のベツトから下に手をのびして娘の塩豆を一掴み、握んで行った。お夏は屈伸衛生部員から「甲板へ出るときは洋服を着て靴下をけして下さい」と言われるので、昨日から一まもデッキへ出ないで、寝ころんでいるのであった。彼女は丸窓からちらとホンコンを眺めただけであつた。そしていまこの港が遠ざか、こ行くというのにも何の感傷ももつていなかった。小島のあいたをぬけ、岬のはなを廻ると、ホンコンも、そのあたりの風景も、四国をはるかに見たことと何の変わったものではなかつた。それだけにブラジルに思ける趣味もなくなつた。たかも知れないが、恐怖をどるようなものでもなかつた。ただ、言つて見れば外国の山も海も、日本と大して変わったものではないことが解つただけだ。しかしこれは大きな発見であつた。たかも知れない「外国」というものに對して抱いていた、ほとんど「化けもの」に對するような気持ちから、正当な、または親しみのある印象を感ずることができたのである。

陸は急速度に見えなくなつて行つた。一時間も経つと外国の島は外国という特色を失なつた。ただの島影であつた。二時間も経つと湖島が見えたときと同じであつた。そして三時間もたつともう船はどこにいらぬのか、見当もつかなくなつた。また、視野の全部が水と空とになつてしまつた。ホンコンは、ふと幻に浮いた影ではなかつたか。ことに上陸しなかつた者にとつては、ホンコンを記憶すべき何んの手がかりもなかつた。このようにして彼等の航海は神々のとなりホンコンがあり、その隣りにシンガポールがあり、コロンボがありブラジルがあるに違ひない。ひろい海の上に港だけが点々として浮いておられるかお知れない。

ひろすぎ、ホーイ達か倉庫から厨房室へ大豆の袋をうんと抱きあげたのを見た。細川というおどけたホーイがメリケン粉の袋を抱いで背も肩も真白になつておられるのを見た。すると夕飯にはうどんが出た。うどんの上には油あげが乗つていて、奴豆餅が皿に並んで「やあー」と巡査のようにびんとした立派な髭をはやした牛島が叫んだ。「豆餅だぞー」

「奴豆餅だば一杯やらねばなんねえ」

「ホンコンで買つて来たべか」と孫市かいうと、お夏がさつき台所

「そこで日本を思い出す夕食はじまつた。船は都会のようなものだつた。東京のような、大阪のようなものであつた。どこではあつた。ゆる不慮かとのりつけられ、あつちる便利が考案され、そしてこんない。このうとん、豆餅とこ郷里にいた頃のような職工合になつた彼若か、おくひまじりの都々逸を弾を鳴らして上のデッキに出て行く、もうそこには小水助監督が例の白いユニホームを着て、夏の運動帽をかぶ、こ待っていた。」

「国民体操をやりまつかう口ハッチのところを探つて下さい。みんな早く帰ってー」しかし中年の女たちは、一向に体様をしようとはしなかった。

御案内

冷氣一入の折柄皆様には愈々御健勝にお越しのこと、大慶に存じます。さて今年は今区

入植四十五周年 にごり、

ますので、来る七月三日を期し左記日程により記念祭典を催すことになりました。

就きましては、当区御縁故の方は勿論のこと、一般の方々もフルーツラ原頭へ吾々と共に楽しく一日をお過ごし下さいますよう御家族共々御来駕の程衷心よりお待ち申し上げます 敬白

左記

- 一時と場所 七月三日(月) 区会館運動場にて
- 二、祭典行事 昼間部 (イ)運動会 午前八時より十一時 午後一時より四時
- (ロ)祝賀式典 午前十一時より午後一時
- 高齢者、近隣家族に記念品贈呈、祝宴等
- 夜部 (イ)盆踊り大会 午後六時より
- (ロ)假裝競演大会 以上

フルーツラ区入植四十五周年

祭典委員会

追記 夜間の部には一般の方参加を歓迎いたします。 昼一夜とも売店があります

死亡通知並に会葬御礼

夫、前田智(六十八歳)候病氣療養中の処薬石効なく去去る六月十二日午後二時十五分永眠致しました。依つて翌十三日午後三時自宅出棺バストス墓地へ埋葬致しました。

此の儀生前御交誼を頂きました皆様には謹んで御報らせ致しませぬ。葬儀に際しましては御多忙中にも拘らず遠路の処態々御全葬下され、且又御鄭重なる御香料並びに花輪等御恵供賜り誠に有難く厚く御礼申し上げます。

実は一々御廻礼致し拝眉の上御礼申し上げる筈の処、取込中にこそこの意を得ず、失礼をかえりみず紙上を以て取り敢えず御礼の御挨拶申し上げます。

一九七七年六月十四日

中央第三区

- 喪主妻 前田 田 ぶさ子
- 父 前田 芳太郎
- 長男 〃 ヒロシ、ネルソン
- 妻 〃 ローザ
- 次男 〃 マリオ
- 妻 〃 民子
- 三男 〃 セルシオ
- 妻 〃 清美
- 長女 安永 妙子
- 夫 清志
- 次女 前田 マケ江
- 三女 杉 三子
- 夫 秀雄
- 孫 一 同
- 親戚代表 隠岐 澄夫
- 友人 杉 藤 造
- 友人 古 賀 実

- バストス中央親睦会 様
- バストス中央第三区 様
- ブラタタ製糸株式会社 様
- 世界救世教バストス支部 様
- バストス福音ホーリネス教会 様
- 巴上教入会バストス支部 様
- 会葬者 御一同 様

通常総会開催御案内

バストス農村シンジカット

貴家益々御清栄の事と拝察申し上げます。
扱て、ブラシル州州指令の法規に基いて、左記により通常総会
を開催致しますから、万障御繰合せの上御出席下さいますよう御
通知申し上げます

議 題

一、一九七六年度事業報告並びに決算報告。

二、その他の件

日時 一九七七年六月二十五日(土曜日)正午十二時(第二回招集)

場所 バストス南米銀行階上サロン

会員各位

バストス農村シンジカット 会長

西

徹

ASSEMBLEIA GERAL ORDINARIA

Pelo presente edital ficam convocado todos os associados deste Sindicato, qui tes e em pleno gozo dos seus direitos sindicais, para a Assembléia Geral Ordinária, a realizar-se no próximo dia - 25 de junho de 1977, às 10.00 (dez) horas no Salão Nobre do Banco América do Sul S/A, à rua Presidente Vargas, nº 093 nesta cidade, com a seguinte ordem do dia:

- a) leitura, discussão e votação da ata da assembléia anterior;
- b) leitura, discussão e votação do Balanço, Relatório da Diretoria e parecer do Conselho Fiscal, referentes ao exercício de 1976

De acôrdo com os Estatutos, a votação será feita pelo sistema de voto secreto. E não havendo número legal de associados para a realização da Assembléia ora convocada, fica de terminada a segunda convocação para 2 (duas) - horas após, no mesmo dia e local, a qual realizar-se-á com qualquer número de associados presentes.

Bastos, 14 de junho de 1977

a) Tohoru Nishi - Presidente

バストス週報歌壇 第十九回

老人パーティの日に 信太千恵子

- 窓に射す午後の陽ひかりやわらわかく老人パーティのひと日賑う
- 幾山河越えこきませし人と和し祝日の歌久に唱わむ
- 子に孫につなかり温き俵はきかずと謝れり穉しき貌に
- 老年と思えぬ程の声量に喚えば拍手鳴り止まずおり
- 歩にみする靴音さえも虚に語ればつきぬ杳き日のこと
- 土井はやし
- 長命の薬に植えレマテ茶の木わが背藏うげかり繁りぬ
- 争いし孫らのいねし部屋中に手足もがれこ泣き入る人形
- 放埒のあげくの果の野良大か追うものあらぬ吾が軒に寝る
- 疑惑湧くわれに無垢なる人形は哀切のなき笑い見するも
- 胸さわぐ朝を初菊手折りきこ救れぞうな仏間に入る
- 浦川つばみ
- 水道の木の凍こしと妹の故里候りをくりかえし読む
- 垂らしおく水道凍らぬ近所より暇に来しとう妹のたより
- 急来の寒波のあした息向く日本の冬に想いはしらす
- 外はまだ寒波の名残の風ありて孫らが圓むテレビの音
- 短評 今月の作品はいずれも迫力に欠けている事ですね。連作の歌でも一首一首の独立性が欲しいもの、独立性がないと、一首だけでは意味が判らなくなります。古稀という諦念えり脚腰を毛布にくるみ夜半をもの書き 宮武路甫

御礼

一、金一千クルゼーロス也
 故、植原義一様三回忌に当り当会へ前記の御寄附を頂きました。厚く御礼申し上げます。

植原清様

金一封也

御母堂、故古賀三乃様御他界の御り香冥返しとして前記の御寄附にあずかりました。厚く御礼申し上げます。

古賀三乃留様

バストス明老会

養鶏家各位へ御知らせ

諸物価高騰の拍柄

鶏糞の値段一キロにつき

六〇・六五クルゼーロスと

決定いたしました。

右厳守をお願い致します

以上

バストス

農村シンジカット

養鶏家各位

おしらせ

入植祭演芸会

出演申込受付

×切来る七月五日

注意 題名決定と×切御は受付お断り致します。

出演に要する時間と出演者のお名明記のこと

申込先きは

前山 義雄
 長 橋 智

演芸会場に於て大福引

立派な景品を沢山用意あり

福引券を皆様のお宅へお届け致しますが

抽籤は演芸会内最後に開標発表致しますが

凶度の呼び出しに出来られない場合代理人の場合は無効となります。

入植祭々典委員会

Tabela de Preços

Marca / Tipo	Unidade	Cr #
Castrol G.I.X.	Litro	27.00
" "	1/2 litro	14.00
" "	2 1/2 "	68.00
" M.O.I.-Tropical	litro	24.00
" "	Galão	120.00
" "	Baldão	330.00
" Graxa	Quilo	30.00
" Ne-90	litro	30.00
" Ne-140	"	30.00
" 2 Tempos	1/2 litro	12.00
Eso Extra	litro	24.00
" " Super	"	27.00
" " Bindilla	Balde	33.00
" " 2 Tempos - Bitex	1/4 litro	6.00
Motocraft	litro	27.00
Mobiloil-Special	"	24.00
" - Super	"	27.00
" - Delvac	"	24.00
" - " " " " "	Galão	180.00
" " " " " " "	Baldão	330.00
Mobilube - n: c 90	Galão	150.00
" - n: c x 90	"	175.00
" - n: 140	"	150.00
" - n: c 90	Balde	450.00
" - n: c x 90	"	500.00
Mobil Graxa - n: 2	"	450.00
Shell Motor Oil	litro	20.00
" X-200	"	20.00
" Super	"	27.00
" " "	1/2 litro	14.00
" Spirax	litro	30.00
" Donax - T6	"	30.00
" Spirax	Balde	450.00
" Donax - T6	"	450.00
" Graxa	Quilo	30.00
Uesa - ed	litro	24.00
" - ED	Balde	310.00
" - Ja-3	"	330.00

Obs: -1- Para Compra em Caixas Damos Desconto Especial

2- " " de mais de 5 (cinco) Baldes Desconto Especial

3- Tempos Tempos c/ Oleos de Diversas Marcas - Preço de Atacado

大方各位

毎度御愛顧を賜わって居ります。ポスト後藤「ガソリン」配給所(後藤第一軽油)左記の夕べ三通り各種エトル油を販売致して居ります。

現在巷間に伝へて居ります値毀表は当配給所とは何等関係はございせんから、此の夕べ三を御参照下さいませ様、御通知申し上げます。

トックデカシアス街五五五。電話三七七番

後藤第一「ガソリン」配給所

謹告

A V I S O

A quem possa interessar, informamos que tivemos conhecimento de uma TABELA DE OLEOS E LUBRIFICANTES, mas nos não temos nada que ver com a tal TABELA. Assim sendo, publicamos abaixo a nossa TABELA DE PREÇOS DE OLEOS E LUBRIFICANTES:-

(Anexar A TABELA Anexa)
NESSE ESPAÇO.

Era o que tinhamos a comunicar, subscritamento - nos

Atenciosamente,

Posto de Abastecimento G
COTO LTDA.
Rua Duque de Caxias, 555 - Fone: 377
Bastos - 06/06/77

Auto Mecanica BASCAR LTDA.

Rua Adhemar de Barros: 295, Fone: 156 Bastos E.S.P.

Agora em Bastos há uma oficina que você esperava com mecanicos especializadas em VOLKS WAGEN e CORCEL retifica de motores com assistencia preços modico a Auto Mecanica BASCAR LTADA, e todos que você esperava de um Auto mecanica

AGradecemos a sua preferencia



オンライン
サービス

皆さんお待ちかねの
ボルクス・ワーゲン車並
にコルベル車専門のオフイ
シーナを当バスト市に
特設開業しております
テクニコのメカニコが皆様の
愛車を完全と修理と調整
により最高性能を發揮する
ことが出来、しかも修理費修
理費は全く奉納値段です

ル・アテマルデハイア二九五番地

アウトメカニカ
バスカル商会

電話一五六番

NOSSA RELOJOARIA

TAKMI SHIBATA Rua Adhemar de Barros 213, Fone: 154, Bastos S.P.

入植祭のプレゼントは

当店でお選び下さい
各種有名な時計一切
世界中の有名時計がそろって居ります
カラーテレビジョン
鮮明な映像と色彩の美しき、音のすばらしい、
ステレオグラブドール
立体音響のすばらしい、実演そのまゝ録音と再生ノ
ホケッ用電子計算機
一臺に一個は絶対必用、どんなむずかしい計算もOK、
結婚祝のプレゼント
あなたのお好みの品が豊富に揃って居ります
おみやげ用品色々
宝飾・鏡・イヤホン・カセット・蓄電池・時計・何でも

ル・アテマルデハイア二一三番地

レロジョアリア タカミ

柴田時計店

電話一五四番

Arvore de Cine Bastos

(超特作)

六月二十四日(金)八時
松竹
然天
花心中

六月二十五日(土)九時半
近藤正臣
中野良子
森元シオ

六月二十六日(日)八時
高橋英樹
伊佐山ひろ子

昭和の枯すき

六月二十七日(月)八時
監督 野村芳太郎
午後二時マネ

東宝
彩色
七月一日(火)八時
七月二日(水)八時
七月三日(木)四日(月)

パンダコパンダ大リーグボール

大変・カーカスが大洪水、なまよしとろろを救けましよう、パンダはボートで大活躍、

未定

東映
然天
七月七日(金)八時
七月十日(日)九時半
七月十一日(月)八時

やくざ抗争

監督 佐藤純弥
安藤 昇
菅原文太
渡瀬恒彦
藤 浩子
天津 敏
渡辺文雄

神戸国際ギャンブル

監督 田中 登
高倉 健
夏木洋子
夏八木勲
菅原文太

明日に命を賭す、彼らはダンディに変装してギャンブルの火ぶたを切った
慶応大学・国士舘大学・東洋大学等の演劇部の出演超大作、